

2026年7月10日

各位

株式会社 紀陽銀行

地域の脱炭素化の実現に向けた取り組み ～橋本市および株式会社バイウィルとの3者連携協定締結について～

株式会社紀陽銀行（頭取：原口 裕之）と橋本市（市長：平木 哲朗）、株式会社バイウィル（代表取締役社長：下村 雄一郎）は、「橋本市の持続可能な地域社会の実現に向けた環境価値事業等に関する連携協定（以下、本協定）」を締結しましたので、下記のとおりお知らせいたします。

本協定により、J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、事業の推進等を通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現をめざします。

紀陽銀行は、今後も地方公共団体などの関係各機関と連携し、持続可能な地域社会の実現に貢献してまいります。

記

【連携協定内容】

名 称	橋本市の持続可能な地域社会の実現に向けた環境価値事業等に関する連携協定
目 的	J-クレジットをはじめとした各種環境価値に関する情報の共有化、事業の推進等を通じて相互の連携を強化し、地域におけるカーボンニュートラルおよびサーキュラーエコノミーの実現に寄与すること
連携内容	(1) 環境価値に関する情報・サービス・ノウハウ等の提供 (2) 環境価値を活用した新たなビジネスモデルの創出 (3) その他、本協定の目的に資すると当事者が認める事項

【締結式の様子】

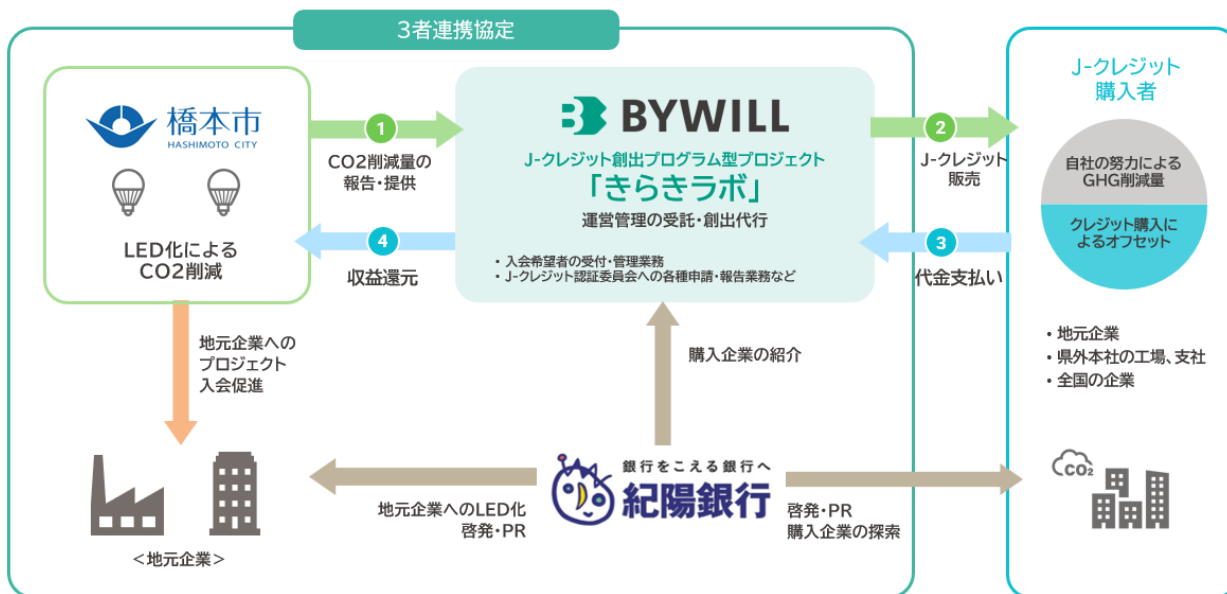


紀陽銀行
向井 守寿
取締役常務執行役員

橋本市
平木 哲朗
市長

株式会社バイウィル
金城 康
社長室長

【連携協定スキーム】



以上

本取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）のゴール7「エネルギーをみんなにそしてクリーンに」、ゴール11「住み続けられるまちづくりを」、ゴール13「気候変動に具体的な対策を」、ゴール17「パートナーシップで目標を達成しよう」につながる取り組みです。

